

# 受賞企業事例 アサヒグループホールディングス株式会社



第4回 ESGファイナンス・アワード・ジャパン  
環境サステナブル企業部門 金賞

## アサヒグループホールディングス株式会社



※ 開示媒体及び情報は受賞時点の内容です。

### 受賞理由

- サステナビリティ課題の財務影響に加え、リージョン別にブレークダウンした開示に取り組むことで、グループ全体の取組をわかりやすく説明するべく努めていることを高く評価する。
- 事業活動のサステナビリティを担保するために事業ごとに重要原料を定め、ステークホルダーを巻き込んで気候変動、水資源、生物多様性の3つの視点に基づいた環境リスク評価を行っている点は、持続可能な原料調達に関する一つの雛形として評価できる。

### 高評価のポイント

#### 【サステナビリティと経営の統合】

中長期的な視点を重視し、バックキャストで策定した中長期経営方針において、コア戦略の1つとしてサステナビリティ戦略を位置付け。サステナビリティと経営の統合のため、未来への約束「Cheer the Future」を設定し、今後の指針を社内外に示すとともに、マテリアリティを見直し、経営資源を集中して取り組む重点テーマを設定。

また、経営陣がサステナビリティの追求の成果にコミットし、各事業や機能にサステナビリティ戦略を落とし込み、KPIをモニタリングすることにより、サステナビリティを常に意識した事業活動や価値創造が繰り返される状態が目指されている。



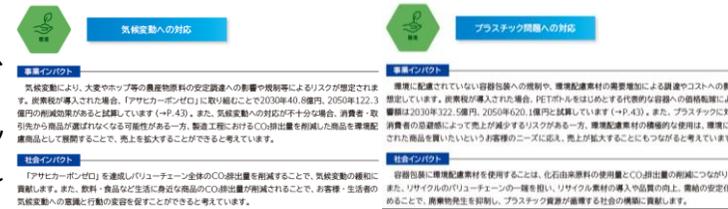
(出所) アサヒグループホールディングス統合報告書2021、p.30

#### 【事業と社会へのインパクトの分析】

環境分野で重点テーマとして設定した気候変動とプラスチック問題について、中長期的な財務影響を含む事業

へのインパクトと、社会へのインパクトを、価値創出のプラスの観点と、リスク・負荷の低減の観点の両側面で開催している。

また、設定した目標の達成に向けて、気候変動への対応については投資予定額も含めた、具体的な対応策を示している。



(出所) アサヒグループホールディングス統合報告書2021、p.39

### 選定委員のコメント

アセットマネジメントOne(株)  
櫻本 恵



- 統合報告書では、経営トップがサステナビリティ戦略を経営に統合し、実効性を高めている状況が簡潔な表現で良く伝えられています。
- 気候変動とプラスチック問題への対応を特に重点テーマと位置付け、グローバル目標を示すに留まらず、事業インパクトと社会インパクトにしっかり言及している点を高く評価します。
- TCFD 開示ではスコープ3の財務影響を試算した上で、環境課題解決に向けた投資について具体的に説明していて、説得力があります。
- こうした開示情報は投資家にとって有用なだけでなく、社内での認識向上や目標達成に向けたコミットメントの強化に繋がっていることが確認できました。